



春日部中央総合病院

IMSグループ広報誌プラザイムス

令和7年10月発行



WITH A Will.



Vol. 65

▼各部署からのご紹介

- ・薬剤部
- ・臨床工学科

▼当院からのお知らせ

- ・インフルエンザ予防接種
- ・マンモサンデー
- ・特定健診
- ・新任医師紹介
- ・医療公開講座
- ・骨盤底筋体操教室
- ・SNS紹介

手軽に痩せらせる と SNS等で話題の GLP-1受容体作動薬 について

G LP-1受容体作動薬とは

2型糖尿病の治療薬として広く用いられています。インスリン分泌を促すGLP-1を補い、血糖値を下げるだけでなく、食欲を抑制し体重減少にも有効とされています。最近では、『手軽に痩せられる』として、マンジャロ®を始めとするGLP-1受容体作動薬がSNS等で話題となっています。

G LP-1受容体作動薬は体にどう作用するのか

すい臓からはインスリンと呼ばれる血糖値を下げるホルモンが分泌されています。インスリンは血液中のブドウ糖を細胞内に取り込むことで、血糖値、体重を低下させます。また、体内には食物の摂取後インスリン分泌を促すインクレチンという物質も存在します。GLP-1はインクレチンの一つで、すい臓にGLP-1が作用することでインスリン分泌を促進させます。GLP-1受容体作動薬もGLP-1と同じ様に働きます。

副作用

主な副作用として、頭痛、めまい、消化器症状（食欲不振、お腹のはり、胃のむかつき、便秘、下痢）があります。また、重大な副作用として、急性すい炎や低血糖になることも報告されています。

問題点

ダイエット目的での使用が増えることで、本来の2型糖尿病の治療でGLP-1受容体作動薬を使用する方への供給が間に合わなくなってしまうことがあります。実際に、マンジャロ®は需要の増加で注文後納品されなかったり、一部しか納品されない事案が発生しました。

また、ダイエット目的での使用で重大な副作用が起きたとしても、本来の目的とは異なり、適切な使用をしていないため、医薬品副作用被害救済制度の対象外となってしまう。

医薬品副作用被害救済制度とは、医薬品を適切に使用したにもかかわらず、重篤な副作用によって入院治療が必要になる等の健康被害を受けた場合に、医療費や年金等の給付がされる制度です。



▲ 注射薬の マンジャロ® とトルリシティ®
週1回注射するものが多いです。



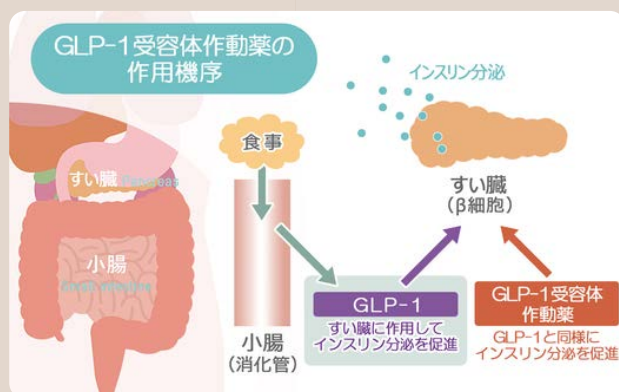
▲ 内服薬の リベルサス® 1日1回内服します。

※いずれも、ダイエット目的での使用は、保険適応外となり自費での治療となります。

聞いたことはありませんか…？
GLP-1受容体作動薬の種類



▼ GLP-1受容体作動薬はどう作用するのか



つまり、GLP-1受容体作動薬を“ダイエット目的”で使用したことで起きた副作用のすい炎や食欲不振からの脱水で入院した場合、医療費や医療手当等の“給付はされない”ということです。

『手軽に痩せられる』との売り文句の裏には、こうしたリスクがあるということを十分ご承知いただいた上で、自己責任でのご使用をお願いしたいと思います。

どなたでも **無料** でご利用可能

IMSグループの病院・介護施設の相談窓口

サービス内容

病院相談

転院相談

介護相談



0800-800-1632 IMS総合サービスセンター



△ご注意ください！
本年12月2日から
現行の健康保険証は
発行されなくなります
※12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効です

**マイナンバーカード
をご利用ください**
今すぐお持ちでない方は次回ご持参ください

マイナンバーカードの保険証利用がまだの方
※保険証は窓口（カウンター）で受け取れます

ぜひ、一度使ってみませんか？
マイナンバーカードの保険証利用

マイナンバーカードの保険証利用には
さまざまなメリットがあります！

※マイナンバーカードの保険証利用には
「データに基づく適切な医療を受けられる！
さらに、健康保険料が軽減される！
初診時の窓口負担が低くなる！」

※マイナンバーカードの保険証利用には
「手続きなしで高額療養費の限度額を超える
支払いが免除！」

※マイナンバーカードの保険証利用には
「マイナンバーカードの保険証利用がまだの方
※保険証は窓口（カウンター）で受け取れます

ペースメーカー外来のご紹介

こんにちは！臨床工学科です！

臨床工学技士は医療機器の専門医療職です。私たちは春日部中央総合病院内で、医師・看護師や各種医療技術者とチームを組み、生命維持管理装置の操作・管理を担当し、医療機器の保守点検も行っています。

安心・安全に医療機器を使用するため、医療機器のスペシャリストとして臨床に貢献し、様々な業務に関わるジェネラリストとして幅広い知識とスキルを使い現場で活躍できる臨床工学技士を目指しています。

ペースメーカー外来のご紹介

ペースメーカーは、心臓の働きに関わる精密機械であるため、定期的なチェックが必要です。

当外来では、私たち臨床工学技士が患者さまのペースメーカーの定期点検を行っています。具体的には、電池残量の確認、動作確認、リード線の異常有無や、患者さまの不整脈の有無をチェックしています。なお、ペースメーカーのチェックを行う際は、専用の機械を体の表面に当てて行いますので、患者さまの身体への負担はほとんどありません。

その他、社会生活を送る上でのお悩みごとやご不安な点等ございましたら、併せてご相談ください。

ORFICE(オルフィス)を導入しました！

遠隔モニタリングを使用している患者さま管理も積極的に行っています。(フォロー患者さま 約800名、遠隔モニタリング 約600名)

当院では、昨年4月よりペースメーカー遠隔モニタリング一元管理システム“ORFICE”を導入しました。

ORFICEは、各心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリング情報を1つのシステム上に一括表示させる、国内の各種ガイドラインに準拠したシステムです。

遠隔モニタリングデータに加えて、手術情報、デバイス・リード情報(スペックや設定等)、外来チェックレポート等、ペースメーカー管理に必要なあらゆる情報を一元管理することができ、ペースメーカー管理の円滑化と患者さまへのより迅速な対応を可能にしています。

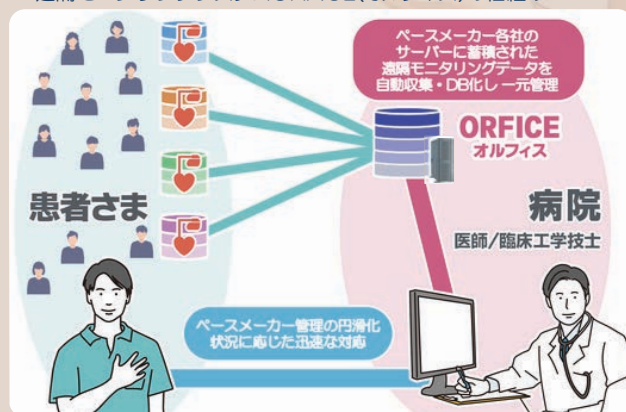
当院での臨床工学科の業務

- ・医療機器保守管理および修理業務
- ・血液浄化業務(血液浄化センター)
- ・心臓・末梢カテーテル検査業務(心臓病センター・下肢救済センター)
- ・不整脈関連業務
- ・手術室・集中治療室(HCU)業務



▲ ペースメーカー外来の様子

▼ 遠隔モニタリングシステムORFICE(オルフィス)の仕組み



臨床工学技士が真摯に対応いたします。お悩みごともお気軽にご相談ください。

医療・介護のお役立ちサイト

「いつでも・どこでも・だれでも」をコンセプトにIMSグループ医療従事者が動画を監修生活に役立つ医療情報を動画中心に集約したお役立ちポータルサイトです

IMSグループ <https://ims.gr.jp/ims-library/>

当院で一緒に働いてくださる方を募集しております。詳しくは求人情報をご覧ください。



